

名張市下水道事業経営戦略の改定について

1. 計画策定の趣旨及び背景

本市の下水道事業は、公共下水道事業、農業集落排水事業が成熟していく中、施設の老朽化に伴う改築・更新費用の増大、将来の人口減少に伴う使用料収入の減少など、経営環境は厳しさを増し、事業継続のためには不断の経営努力が求められます。

このような中、平成29年3月に策定した中長期的な視点に立った経営の基本計画となる「経営戦略」について、令和2年度に下水道事業を官公庁会計から公営企業会計へと移行したことに伴い、財政マネジメントの向上を進めるとともに効率的かつ計画的に施設整備を進め、将来にわたり持続可能な事業運営に取り組むため、今般、公営企業の観点から改定するものです。

2. 計画の位置付け

本市の総合計画である「なばり新時代戦略」や「名張市下水道マスタープラン」等の各種計画との整合を図りつつ、今後10年間における経営の基本的な考え方、投資試算や財源試算、収支ギャップの解消など経営健全化に向けた取組を定めています。

3. 計画期間

令和5年度から令和14年度までの10年間とします。

4. 計画の内容

(1) 事業の課題

- ア. 事業の効率化 有収率の維持、改善とともに、効率的な維持管理費の削減に取り組む必要があります。
- イ. 経営の安定性の確保 経営状況を適正に把握し、将来的に安定した経営基盤を構築する必要があります。
- ウ. 老朽化施設の更新 老朽化した施設の更新においては、事業の平準化、施設の長寿命化による単年度における事業費の縮減などを検討する必要があります。

(2) 経営戦略（投資計画及び財政計画）

- ア. 投資計画 投資額の平準化を含む中長期的な視点を持った公共下水道全体計画、ストックマネジメント計画を踏まえた計画としています。
- イ. 財政計画 経常収支比率、経費回収率について、今後も100パーセント以上を

維持していく計画としています。

(3) 経営健全化の取組

ア. 支出削減の取組 施設の延命化に取り組むとともに、民間委託による経費削減を図ります。また、事業の広域化、共同化及び最適化について検討します。

イ. 収入確保の取組 安定した経営を目指すとともに、必要に応じて適正な下水道使用料について検討します。

ウ. 新たな接続先に対する取組 新たな区域拡大に伴い、耐用年数に近い施設の移管を受けた際には、速やかに管渠調査の上、ストックマネジメント計画を改定することにより、投資額の平準化や削減を図ります。

(4) 経営戦略のマネジメント

P D C Aサイクルによりマネジメントし、投資計画及び財政計画の進捗を管理していきます。また、令和9年度に計画の見直しを行います。